

洪水と水害の「勘どころ」を作成！ ～吉野川における流域治水の取組を推進～

- 気候変動により激甚化・頻発化する水災害から命を守り、被害を最小化するためには、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取組を推進していく必要があります。
- 近年、全国各地で毎年のように水災害が発生しており、吉野川でもいつ大規模洪水が発生してもおかしくない状況にあります。
吉野川では平成16年以降、人命の危機を感じるほどの大きな洪水は発生していません。このような状況では、平成16年の洪水を知る人が減少し、危機意識が薄れる傾向にあります。
- このため、徳島河川国道事務所では各市町と協働のうえ、水害リスクの伝承や自治体による避難情報の発出など、迅速な防災行動の判断に繋がることを目的に、ダム放流量や水位からどのような被害が発生する可能性があるかの目安を示した、洪水と水害の「勘どころ」を各市町の水防担当者向けに作成しました。
- 洪水と水害の「勘どころ」は、徳島河川国道事務所 HP の下記 URL よりご覧いただけます。
【<https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/bousai/kandokoro/kandokoro.html>】
- いつ発生するか分からない大規模洪水に向け、今後もあらゆる関係者との連携体制のもと、流域治水の取組を進めてまいります。

【イメージ（表紙）】



【構成】

1. 洪水時における勘どころとは？
2. 勘どころの話に入る前に
 - ・現在の河川整備状況
 - ・過去の洪水被害
 - ・吉野川の洪水特性
 - ・過去の治水対策
3. 洪水が到達する時間
4. 地形条件による破堤氾濫リスク
5. 想定される洪水リスク
6. ダム放流量及び水位と水害リスク
7. 洪水予警報の開設
8. 入手可能な洪水情報

【作成対象自治体（14市町）】

三好市、東みよし町、つるぎ町、美馬市、
吉野川市、阿波市、石井町、徳島市、上板町、
板野町、藍住町、鳴門市、北島町、松茂町

【作成のポイント】

- (1) 防災対応上、役立つ情報として、「洪水が流下する時間」や「洪水特性」、「第十樋門等の操作」などを記載。(別紙1参照)
- (2) 沿川14自治体毎に作成し、侵食、漏水、内水氾濫、外水氾濫等が発生する可能性があるダム放流量や水位を明示。(別紙2参照)

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画

「No. 1 南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

電話：088-654-2211（代表）、088-654-9611（流域治水課直通）

副 所 長（流域治水） あいだ相田 はるみ晴美（内線 206）

◎ 流 域 治 水 課 長 はやしだ林田 たくと拓都（内線 351）

◎主たる問い合わせ先

洪水と水害の「勘どころ」

別紙1

【ポイント①】防災対応上、役立つ情報を明示

①洪水が流下する時間

➤ ダム放流した洪水が何時間後、下流に到達するか、おおよその時間感覚を持つておくことが重要



②洪水特性

➤ 台風が土佐湾から四国に上陸し縦断する全流域型の降雨特性となると、吉野川本川の洪水流量の上昇に加え、支川からの合流量も比較的大きくなる。そのため、下流ほど流量が大きくなり、大規模洪水となる傾向がある

➤ 吉野川の洪水被害の多くは台風通過によるもの

洪水発生年月日	要因	岩津上流流域平均2日雨量(mm)	岩津最大流量(m ³ /s)	被害・概要等
西暦	洪水日			
1961	昭和36年9月16日	台風18号	318	約12,000 浸水面積6,638ha、床上浸水15,462戸、床下浸水9,702戸。
1970	昭和45年8月21日	台風10号	326	約12,800 浸水面積6,187ha、床上浸水828戸、床下浸水6,507戸。
1974	昭和49年9月9日	台風18号	329	約14,500 浸水面積3,144ha、床上浸水362戸、床下浸水2,439戸。
1975	昭和50年8月23日	台風6号	336	約13,900 浸水面積7,870ha、床上浸水1,679戸、床下浸水10,139戸、全壊流失家屋75戸。
1976	昭和51年9月12日	台風17号	578	約11,400 床上浸水3,880戸、床下浸水25,713戸、全壊流失家屋109戸。
1993	平成5年7月28日	台風5号	421	約12,100 浸水面積158ha、床上浸水39戸、床下浸水243戸。
2004	平成16年8月31日	台風16号	279	約13,600 池田から岩津間の無堤地区で氾濫被害、内水地区で浸水被害。浸水面積757ha、床上浸水92戸、床下浸水139戸。
	平成16年10月20日	台風23号	366	戦後最大の洪水。浸水面積7,645ha、床上浸水745戸、床下浸水1,975戸。
2005	平成17年9月7日	台風14号	505	約13,800 吉野川は浸水面積666ha、床上浸水19戸、床下浸水111戸。
2011	平成23年9月21日	台風15号	314	約11,000 吉野川は浸水面積4,201ha、床上浸水107戸、床下浸水618戸。
2014	平成26年8月3日	台風12号	442	約11,900 (台風11号の実態により、未調査)
	平成26年8月10日	台風11号	336	約10,400 吉野川は浸水面積2,989ha、床上浸水29戸、床下浸水118戸。
2018	平成30年7月7日	台風7号及び7日豪雨	415	約10,000 吉野川は浸水面積97ha、床上浸水0戸、床下浸水1戸。

過去の洪水被害一覧



台風経路のイメージ図

③第十樋門の操作方法

➤ 旧吉野川の洪水については、吉野川本川からの洪水を第十樋門閉鎖により完全に流入しないよう樋門操作を実施することから、徳島県管理の宮川内谷川(宮川内ダム)を始めとする支川からの流入による水位上昇が要因



吉野川からの水を分水して、生活・農業・工業用水として利用



第十樋門を完全に閉鎖し旧吉野川に洪水が流入しないよう操作

【ポイント②】侵食、漏水、内水氾濫、外水氾濫が発生する可能性がある ダム放流量及び水位を明示

④ダム放流量及び水位と水害リスク(吉野川市の例)

➤ ダム放流もしくは上流の水位から、下流にどのような洪水リスクが生じる可能性があるかを事前に知っておくことが重要



➤ 吉野川における池田ダム放流量と水害の目安

池田ダム放流量	1,000m ³ /s	潜水橋(川島橋、学島橋) 冠水通行止め	【岩津水位: 2.00m】
	2,000m ³ /s	江川樋門閉鎖による内水氾濫の可能性(江川)	【中央橋水位: 3.00m】
	2,500m ³ /s	飯尾川樋門閉鎖による内水氾濫の可能性(飯尾川)	【中央橋水位: 3.20m】
	3,000m ³ /s	川島樋門閉鎖による内水氾濫の可能性(桑村川)	【岩津水位: 3.00m】
	4,000m ³ /s	学島樋門閉鎖による内水氾濫の可能性(学島川)	【岩津水位: 3.60m】
		善入寺島が下流端から冠水開始	【岩津水位: 3.70m】
	7,000m ³ /s	ほたる川樋門閉鎖による内水氾濫の可能性(ほたる川)	【岩津水位: 4.90m】
		堤防の侵食、堤防からの漏水が発生	【岩津水位: 5.30m】
	11,000m ³ /s	善入寺島が全島冠水する	【岩津水位: 7.20m】

注) 池田ダム放流量から当該箇所までの流下時間を考慮する必要がある。
河床状況によって、記載の数値は変動するため、おおよその目安である。

ポイント

ダム放流もしくは上流の水位を確認し、ダム放流から当該箇所までの流下時間を考慮しつつ、今後下流にどういった洪水リスクが生じる可能性があるのか事前に知っておくことが重要。